

類型化項目とりまとめ案

システム名		自営通信システム			ITS関連システム	電気通信システム		デジタル放送		アナログ放送	
		(基地局一端末間)	(端末一端末間)	(画像伝送)		(TDD)	(FDD)	(マルチメディア放送)	(デジタルラジオ)	(FM放送)	
用途・目的		●	●	●	●	●	●	●			
利用分野	想定される利用イメージ	●	●	●	●	●	●	●			
	同一目的既存システムとの差異(新たに周波数を確保する必要性)	●	●	●	●	●	●	●			
	代替手段/新規性の有無			●	●		●	●			
免許形態		●	●								
提供形態	共同利用システム/専用利用システム	●	●	●	●		●	●			
	サービスエリア(都市部/郊外/ルーラル、スポット的/面的/地形的等)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	エリアのカバー方法(大ゾーン方式、小ゾーン方式)	●	●	●	●	●	●	●			
利用形態	システム規模(無線局数)	●	●	●	●		●	●	●		
	移動/半固定/固定の別	●	●	●	●	●	●	●	●		
	通信形態(1対1、1対多、陸海空)	●	●	●	●	●	●	●	●		
	通信内容(データ通信(高速、低速)/音声通信/画像通信等)	●	●	●	●		●	●	●		
	アプリケーション(サービス)	●	●	●	●		●	●	●		
要求条件	通信のトラヒック特性(時間、場所(運用エリア)、通常/緊急時)	●	●	●			●	●		●	
	通信の同時刻性(遅延不可/許容、蓄積型伝送)	●		●			●			●	
	通信品質(品質保証/ベストエフォート)	●		●			●		●		
拡張性	対応移動速度(固定、徒歩程度、自動車速度)	●		●			●	●	●		
	他システムとの接続性、親和性	●	●		●						
サービスの継続性	アプリケーション(通信制御系)	●	●								
	IP対応	●									
技術的基礎	既存技術との差異			●	●						
	要素技術の開発状況及びその想定される導入時期	●		●			●	●			
標準化	導入への課題と機器実現性		●	●			●	●	●		
	標準化・規格化の状況	●	●	●		●	●	●	●		
	国内/諸外国の動向	●	●		●	●	●	●	●	●	
社会生活(公共福祉、安全・安心)への貢献	公開技術であるか否か					●					
	快適で質の高い国民生活の実現	●	●	●			●	●			
	サービスの向上	●	●	●			●	●			
	福祉への貢献	●	●	●			●	●			
	健康維持への貢献	●	●	●			●	●			
	安心・安全な社会の実現	●	●	●			●	●			
	犯罪の防止	●	●	●			●	●			
安心感の向上	●	●	●			●	●				
社会へのインパクト	安全で災害に強い社会・国土の形成	●	●	●			●	●	●		
	地域文化の振興	●	●	●			●	●			
	環境の保護・改善	●	●	●			●	●			
経済産業活動の活性化	情報格差解消						●	●			
	社会的、経済的なインパクト・波及効果	●	●	●	●		●	●	●		
地域の活性化	資源の有効利用	●	●	●			●	●			
	事務・作業の効率化	●	●	●			●	●			
日本の競争力向上	労働環境の安全性向上	●	●	●			●	●			
	海外へのシステム展開	●	●	●			●	●			
公共性	サービス対象	●	●	●	●				●		
	効果は全国的か	●	●	●	●						
システムの技術的条件	最終受益者は国民か	●	●	●	●						
	無線周波数帯域	●	●	●	●		●	●	●	●	
	必要周波数帯幅	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	無線周波数(送信・受信)	●	●	●	●		●	●	●	●	
	周波数間隔	●	●	●	●		●	●	●	●	
	周波数の許容偏差	●	●	●	●		●	●	●	●	
	占有周波数帯幅	●	●	●	●		●	●	●	●	
	占有周波数帯幅の許容値	●	●	●	●		●	●	●	●	
	送信電力(基地・端末等用途別)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	アンテナ特性	●	●	●	●		●	●	●	●	
	通信方式等(FDMA/TDMA/CDMA/OFDMA、単信/復信/同報等)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	変調方式	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	周波数共有条件	隣接チャネル周波数共有条件	●	●	●			●			
		同一チャネル周波数共有条件	●	●	●						
	その他	他システムとの共存可能性/条件(周波数共有を可能とする条件等)	●	●	●	●	●	●			
スプリアス発射の強度(許容値)		●	●	●							
最大伝送速度及び実効伝送速度		●	●	●	●					●	
符号化方式/圧縮方式				●		●		●			
推奨される受信基準入力電圧		●	●	●							
周波数有効利用	相互接続性	●	●	●					●		
	セキュリティの確保		●	●							
	他システムとの周波数共有(ex. ○○システムと周波数共有可能)	●	●	●	●	●					
	周波数の共有(空間、時間、符合)	●	●	●	●	●					
周波数利用率				●	●	●	●	●			
ネットワーク構成(SFN/MFN)							●	●			